

2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸美容学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|---------|-----------------|---------------------------|------------|-------------------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 経絡経穴学 I | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年生 | | 学期及び曜時間 | 前期 | 教室名 | 講義室 |
| 担 当 教 員 | 嶋田 琢磨 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| はり師・きゅう師の資格取得、および鍼灸臨床に必要となる正経十二経脈と督脈、任脈を合わせた十四経脈の流注を理解し、所属する経穴名、取穴するための部位を習得することを目的とする。各経脈の流注を概説できる。各経脈の所属経穴、要穴を列挙できる。経穴の取穴を骨度法と解剖学的指標を使って説明できる。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 期末試験80%、確認試験20%(3回実施)で評価する。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 新版 経絡経穴概論第2版 医道の日本社、2009年 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 学習には筋骨格系、末梢神経系および、循環器系の解剖学の知識や陰陽・五行論などの東洋医学の知識が必要となる。そのためこれらに関連付けながら学習をする。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 教科書持参を徹底すること。講義には真摯な姿勢で取り組み、その時間内で講義内容を理解することを心がける。覚えることが多いため、復習を徹底すること。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 講義展開を理解する。経絡・経穴の基礎を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 学習ガイダンス、経絡・経穴の基礎について | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 経絡・経穴の基礎を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 経絡・経穴の基礎について | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 任脈の流注と所属経穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 会陰～中脘について | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 任脈の流注と所属経穴、要穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 上脘～承漿、所属経穴の要穴について | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 督脈の流注と所属経穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 長強～大椎について | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--------------------------------|------------|-------------------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 督脈の流注と所属経穴、要穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 瘰癧門～鬲交、所属経穴の要穴について | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 手の太陰肺経の流注と所属経穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 中府～少商、所属経穴の要穴について | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 手の陽明大腸経の流注と所属経穴について説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 商陽～曲池について | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 手の陽明大腸経の流注と所属経穴、要穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肘髎～迎香、所属経穴の要穴について | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 足の陽明胃経の流注と所属経穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 承泣～欠盆について | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 足の陽明胃経の流注と所属経穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 気戸～気衝について | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 足の陽明胃経の流注と所属経穴、要穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 髀關～厲兌について | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 足の太陰脾経の流注と所属経穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 隱白～衝門について | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 足の太陰脾経の流注と所属経穴、要穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 府舎～大包、所属経穴の要穴について | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各授業の要点を理解し、各経脈の流注、経穴、要穴を説明できる。 | 教科書・配布プリント | 授業範囲の教科書確認と、関連する解剖学的、東洋医学的知識の確認を行う。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合演習により講義内容を振り返り、理解度を測る。 | | |